

地形がつくり出す絶景に見とれています！

岐阜県の皆さん、こんにちは！日本では、少しずつ暑さが和らいできた頃でしょうか
こちらザンビアは、強い日差しが照りつける暑い乾季の真っ最中です。

さて第5回は、**ザンビアの「地形」**について紹介します。

太古から続く大地の美しさ。暮らしと深く結びついた地形は、私の大好きな分野です
この雄大な大地が生み出す自然の美しさと面白さを皆さんと共有したいです。



ザンベジ川での夜明け

大地が作り出した雄大な美しさ

- ・国土の多くは高原（1,000～1,500m）
- ・ザンベジ川などの大河が多く、滝や湖が点在する
- ・東部はアフリカ大地溝帯の影響で山や湖が多い
- ・雨季と乾季が明瞭で、大地の姿が大きく変わる

ザンベジ川

- ・国名の由来
- ・アフリカで4番目に長い
- ・西部にはバロツェ氾濫原があり、伝統的な儀式が行われる
- ・カフエ川やルワングワ川と合流しインド洋に注ぐ



バロツェ氾濫原



ザンベジ川
対岸はジンバブエ



タンガニーカ湖

- ・世界第2位の深さ（1,421m）
- ・大地溝帯の陥没部に形成された湖
- ・固有種の魚が多い

ルワングワ溪谷

- ・アフリカ大地溝帯の一部
- ・標高が低い（400m）
- ・標高が高い高原に囲まれた低地で、動物が外に出にくく外敵も入りにくい構造

→ サファリが有名



乾季のルワングワ川

- ・世界最大級の人工湖
- ・水力発電が盛んで、国内電力の半分程度をここで作っている



カリバ湖の朝焼け

アフリカ大地溝帯とは...?

- ・アフリカ東部を南北に走る、巨大な地形の裂け目
- ・ザンビア東部も大地溝帯に含まれる
- ・地殻の動きによって生まれた深い谷や湖が多く、火山活動が活発で温泉もみられる
- ・高校生の時に地理で習って以来、行ってみたかった憧れの場所

ヴィクトリアの滝！～雨季と乾季でこんなに違う～



7月

10月

左上は7月、右上は10月に撮影
ザンビアの季節は、
雨季(11-4月)、涼しい乾季
(5-8月)、暑い乾季(9-10月)に
分かれる。

雨季は水量が多く
二重の虹を見れる
こともある(右)

7月

ヴィクトリアの滝は、幅約1,700m、
落差約100mの世界最大級の滝です。

世界三大瀑布の一つに数えられ、
世界遺産にも登録されています。

現地語では、「モシ・オ・トゥニヤ
(雷鳴のとどろく水煙)」と呼ばれ、

雨季には水量が増し、轟音と白い水
しぶきが辺り一面を包みます。

一方、乾季には水量が減り、岩肌や
谷の形がくっきりと現れます。

まもなく雨季に入り、緑に包まれて
いくザンビアの大地が楽しみです。

今月の1枚



ヴィクトリアの滝に行ってきました！
乾季の今だけ入ることができる、
滝の上部にある「デビルズプール」
水が流れ落ちる滝を間近に見ることが
でき、滝の上で泳ぐことができます。
目の前に広がる壮大な景色に、
大地の力強さを感じました

最後までお読みいただき、ありがとう
ございました。

次回は、ザンビアの市場を紹介します
来月号もどうぞお楽しみに！